

社会資本総合整備計画

『霊峰伊吹山と天下分け目の武将の息吹を感じる、岐阜・滋賀周遊観光振興による広域的地域活性計画』、『海山湖の魅力を地域活動と広域交通網で向上する福井・滋賀広域観光活性化計画』の中間評価

●委員

資料P. 14、P. 22のまとめについて、事業を推進するとしながら、一方で主要な事業については選定しないと言っている。わかりづらい表現に感じるため、工夫してほしい。

○事務局

表現について工夫させていただく。

●委員

評価指標の目標値について、5%増加としている根拠を教えてください。

○事務局

過去の実績等を参考に、年間1%を目標に設定している。

●委員

観光施設への利用交通としては、自動車と電車等の割合はわかりますか。

○事務局

設定している拠点への利用交通としては、基本的に自動車を想定している。

●委員

単純に年間1%というものではなく、もう少し詳細な裏付けがあってもよい。

○事務局

計画につきましては事前に関係部署に説明しているが、次回の計画の際は目標の裏付け等についても考えさせてもらう。

●委員

伊吹山周辺については、岐阜県からの観光客が増加しているように感じる。今後も観光客が増加すると考えられるため、道路事業についても推進して行ってほしい。

ただ一点、百瀬川の隧道については、地域の愛着のある構造物と思われるので、記憶に留めるような工夫をしてほしい。

○事務局

土木事務所とも共有し、検討させていただく。

●委員

観光入込客数の増加については、道路整備だけでは成り立たないと思われる。情報の共有や組織作り等を関係部署と連携して進めてほしい。

○事務局

岐阜県とはしっかり連携して事業をすすめているところですが、観光部局との情報共有等についてはできていない。

●委員

今後、情報共有等についてお願いしたい。

●委員

国道303号の音羽工区で、工事に伴い山を削られていると思うが、緑化等の対策はするののか。

○事務局

道路の法面については必要な対策をしていく。道路以外の部分については、土地の地権者の判断になってくる。県で何かするという計画は現段階ではない。

●委員

本来、河川の影響をダイレクトに受けるところに植林するのは好ましくない。
この土地がどのように変化するのかしばらく様子を見る方がよい。

●委員

道路構造物について河川浸食の危険性は問題ないのか。

○事務局

河川管理者と協議をしっかりと行って、道路構造物を建設している。橋脚の前後については浸食対策として、護岸を設置するような形になっている。

●委員

重点計画に移行された3事業については、現在はどういう扱いになるのか。

○事務局

令和2年だけは本計画に入っておりますが、令和3年度以降は近畿圏広域連携事業にあてはまる3事業については重点計画に移行している。

●委員

重点計画に移行している、例えば木之本長浜線（森祇園工区）については、10年以上事業を行っていると思うが、重点計画に移行しているので、今回の計画での主要な事業には選定されないということになるのか。

○事務局

移行した先の整備計画において、評価するものと考えている。

●委員

どの事業がどの計画でどれだけ事業を行っているか、整理しといた方がいいのではないか。

○事務局

内部で整理はしているのですが、お示しできる資料として整理していきます。

●委員

道路整備と合わせて、周辺の歴史と関連付けた看板の設置等、走行して楽しい道路を整備して行ってほしい。

●委員

ある程度のインフラ整備がなされている今の時代においては、満足度のあがるプラスアルファの道路整備を行ってほしい。

○事務局

関係部署と協力して検討していく。